

令和8年度 第2回 高知支部評議会

協会けんぽ高知支部の健康課題と取り組み



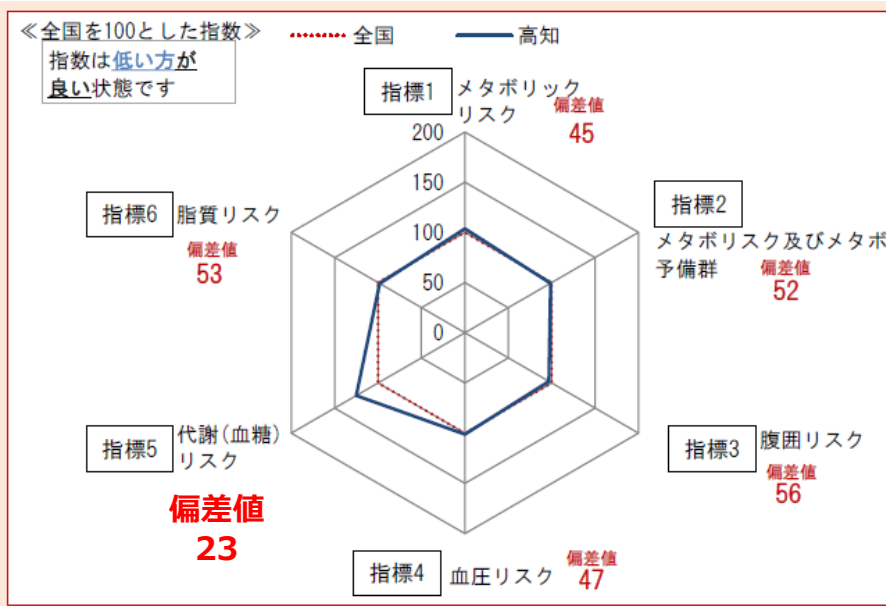
2026年10月22日
全国健康保険協会高知支部

1. 高知支部の健康課題

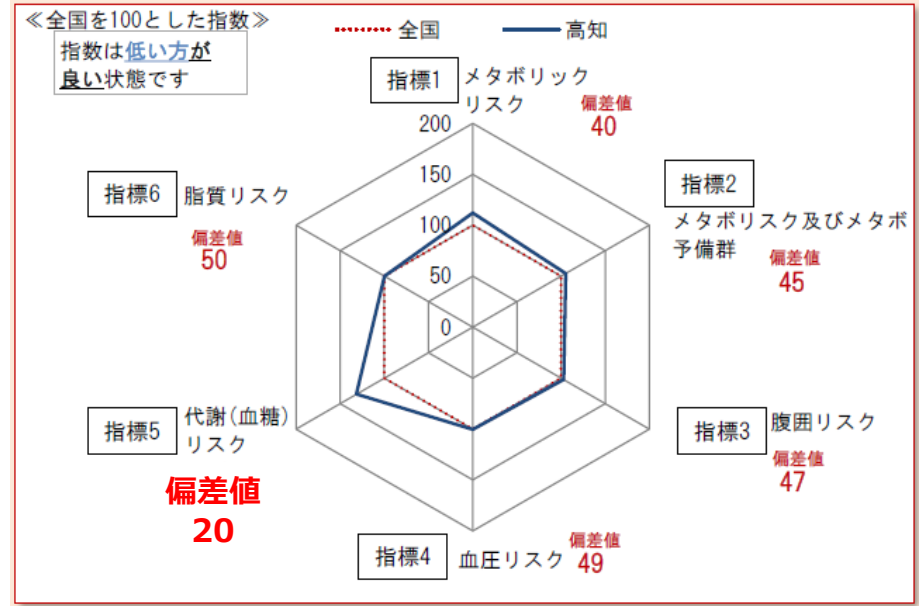
●(指標5)男女とも代謝リスク保有者の割合が全国平均を大きく上回っている

【生活習慣病リスク保有者の割合】

男性



女性



●約56%の男性は血圧リスクを抱えている

【生活習慣病リスクの判定基準】

- メタボリックリスク : 腹囲リスク該当かつ血圧、代謝、脂質のうち2つ以上のリスクに該当する者
- メタボリック予備群 : 腹囲リスク該当かつ血圧、代謝、脂質のうち1つのリスクに該当する者
- 腹囲リスク : 男性85cm以上、女性90cm以上（内臓脂肪面積100cm²以上を優先）
- 血圧リスク : 収縮期130mmHg以上又は拡張期85mmHg以上又は服薬
- 代謝（血糖）リスク : 空腹時血糖110mg/dl以上又は空腹時血糖未測定かつHbA1c6.0%以上又は服薬
- 脂質リスク : 中性脂肪150mg/dl以上又は随時中性脂肪175mg/dl以上

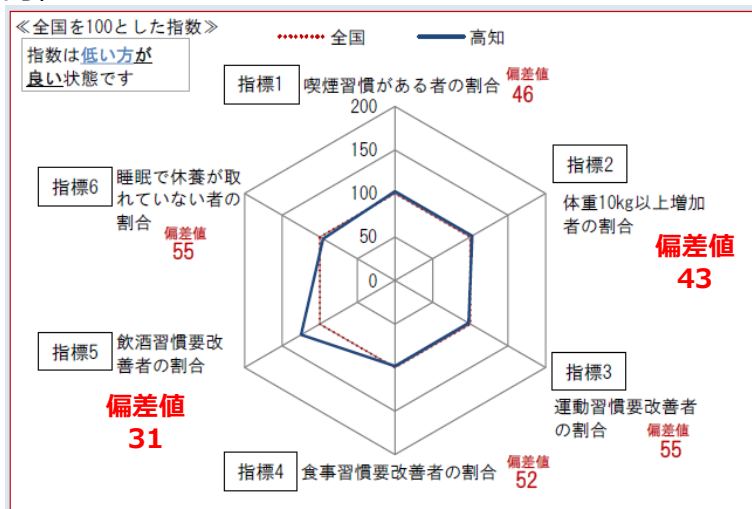
	年度	血 圧 リスク
高知支部	2022	55.6
	2023	55.7
	2024	55.3
	2025	55.9
全国平均	2025	55.3

高知支部の健康課題

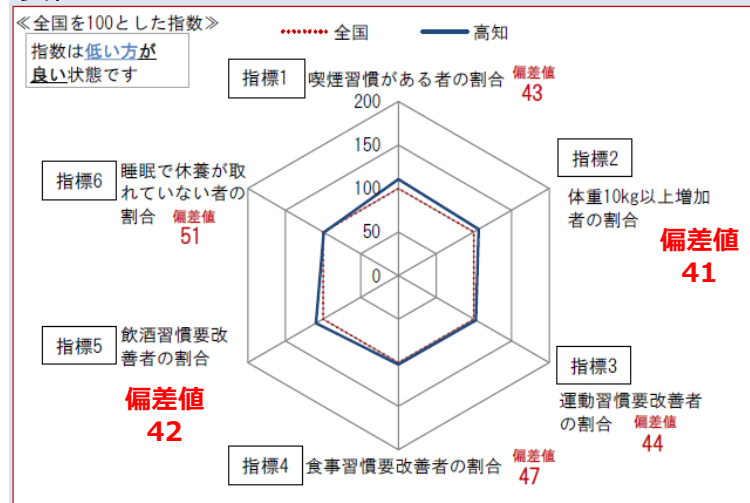
- (指標2)20歳の時の体重から10kg以上増加している、と回答した者の割合が高い
- (指標5)男女とも飲酒習慣要改善者の割合が全国平均より高い

【生活習慣要改善者の割合】

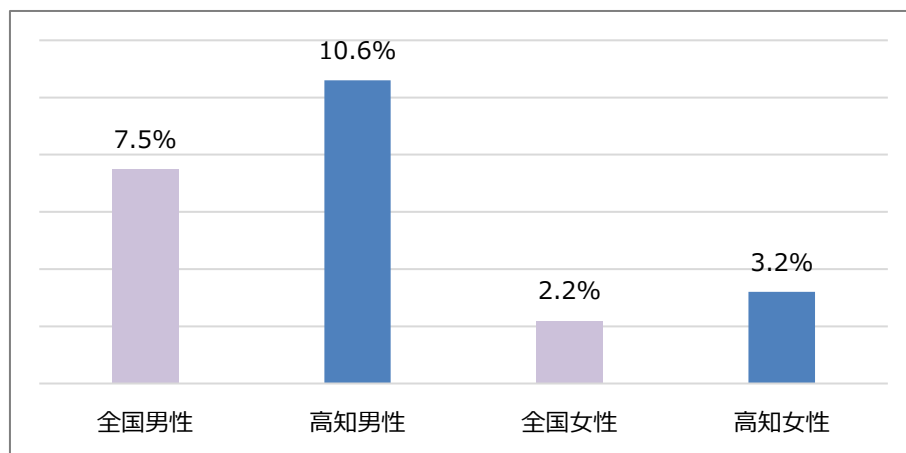
男性



女性

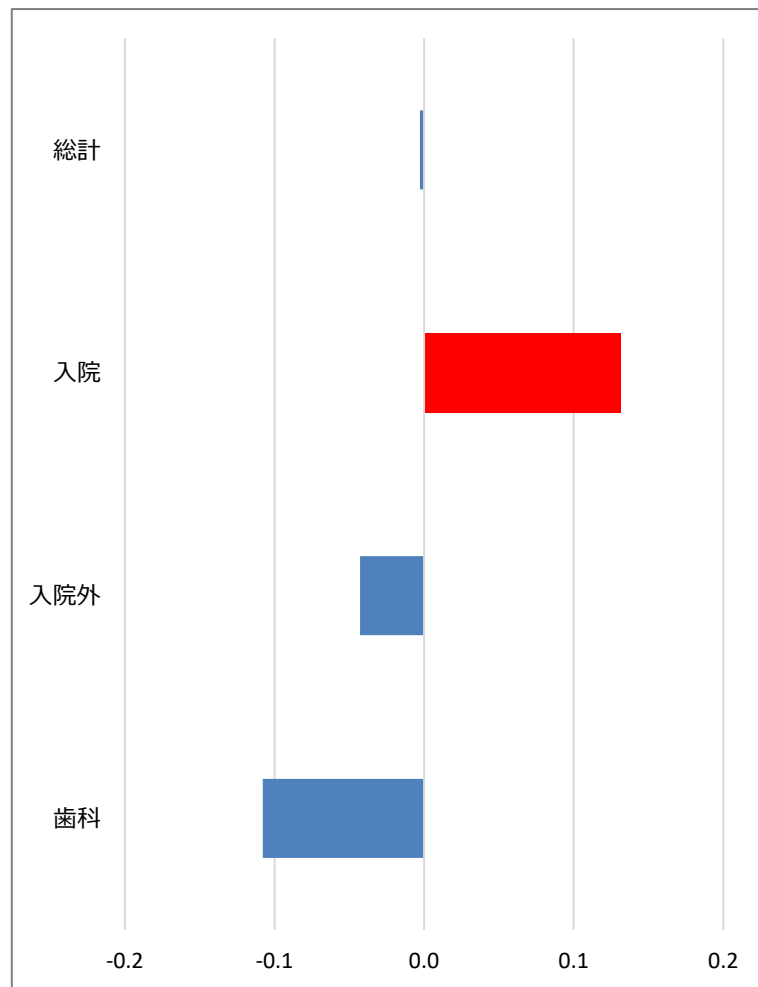


- 男女とも1日当たりの飲酒量が3合以上の割合が全国の割合より高い

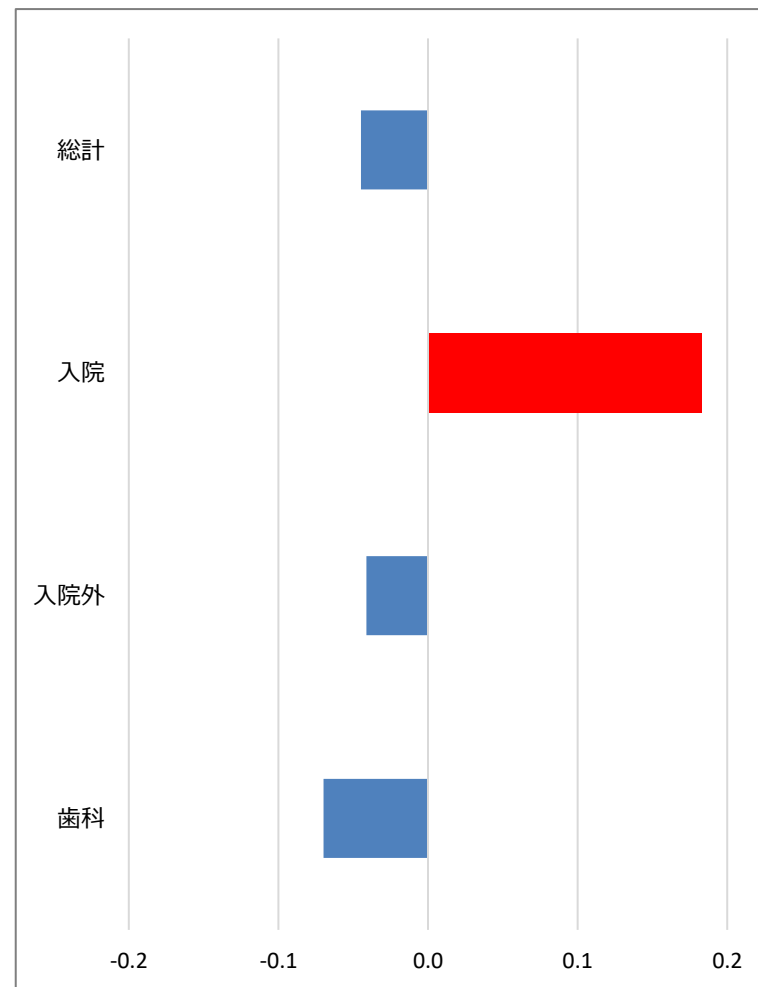


●入院医療費が全国平均より高い

1人当たり医療費の地域差指数－1

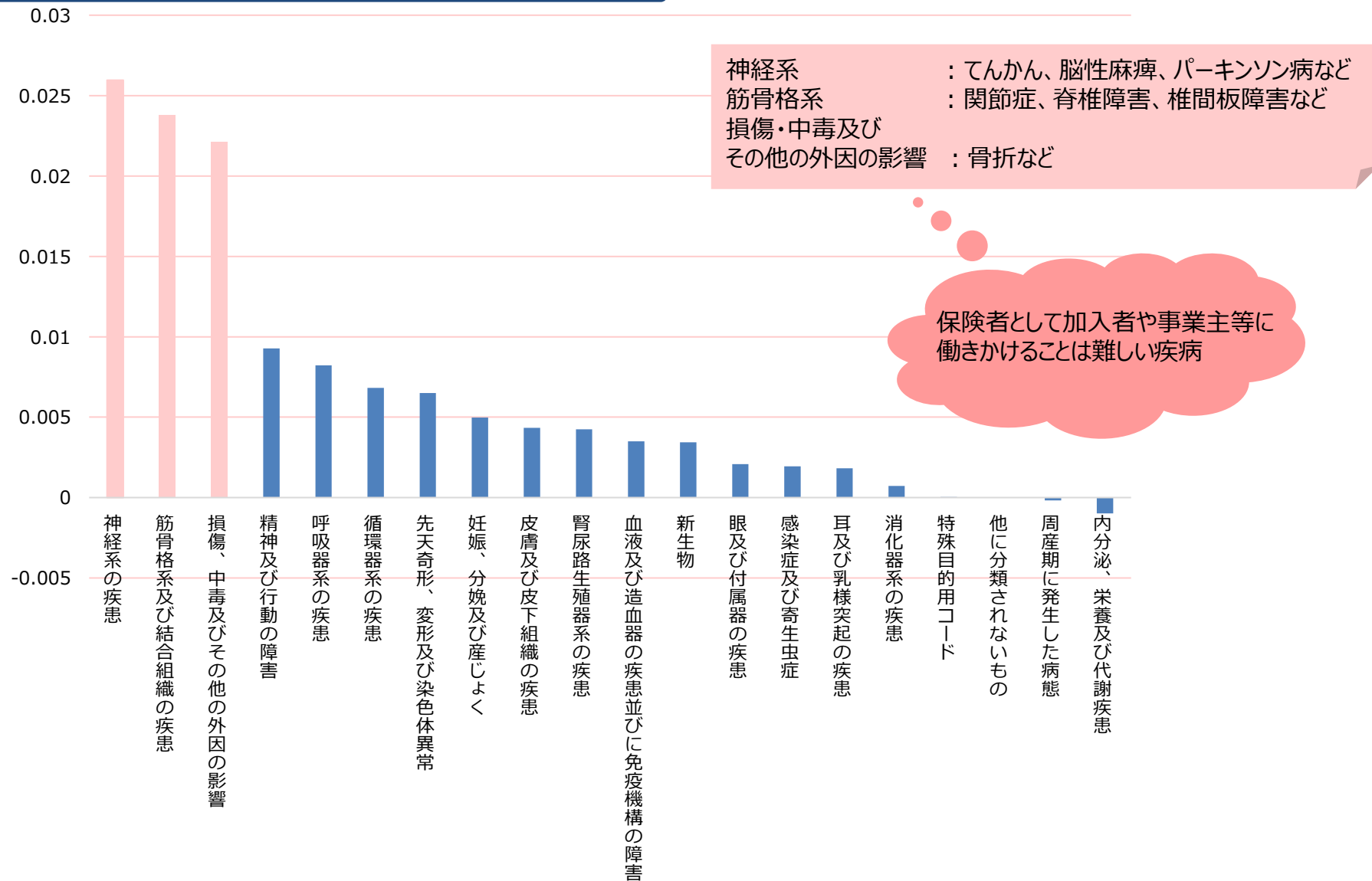


受診率の地域差指数－1



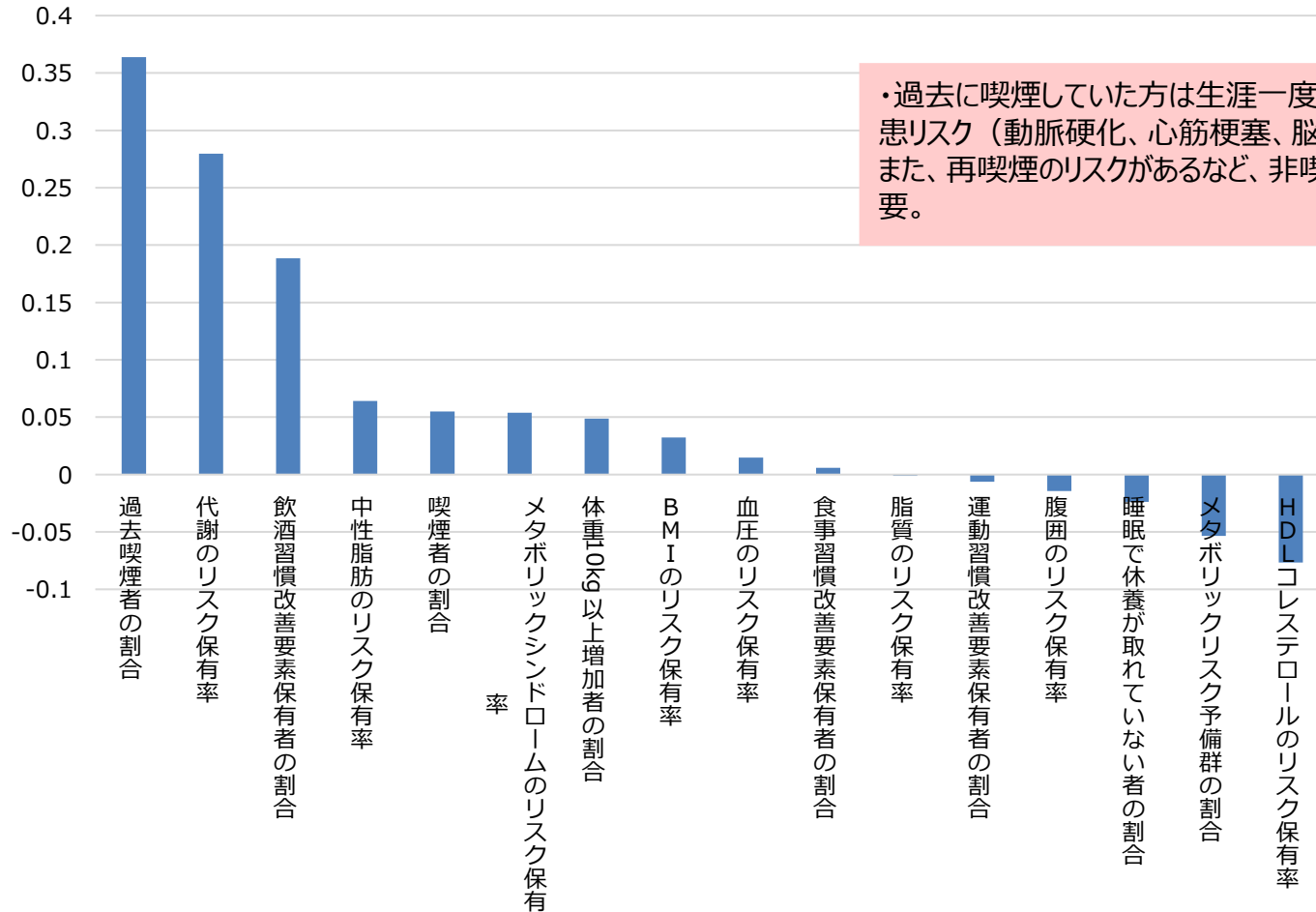
●疾病別では「神経系」、「筋骨格系」、「損傷・中毒及びその他の外因の影響」の順に医療費が高い

疾病分類別 1 人当たり医療費の地域差指数 - 1 の寄与度



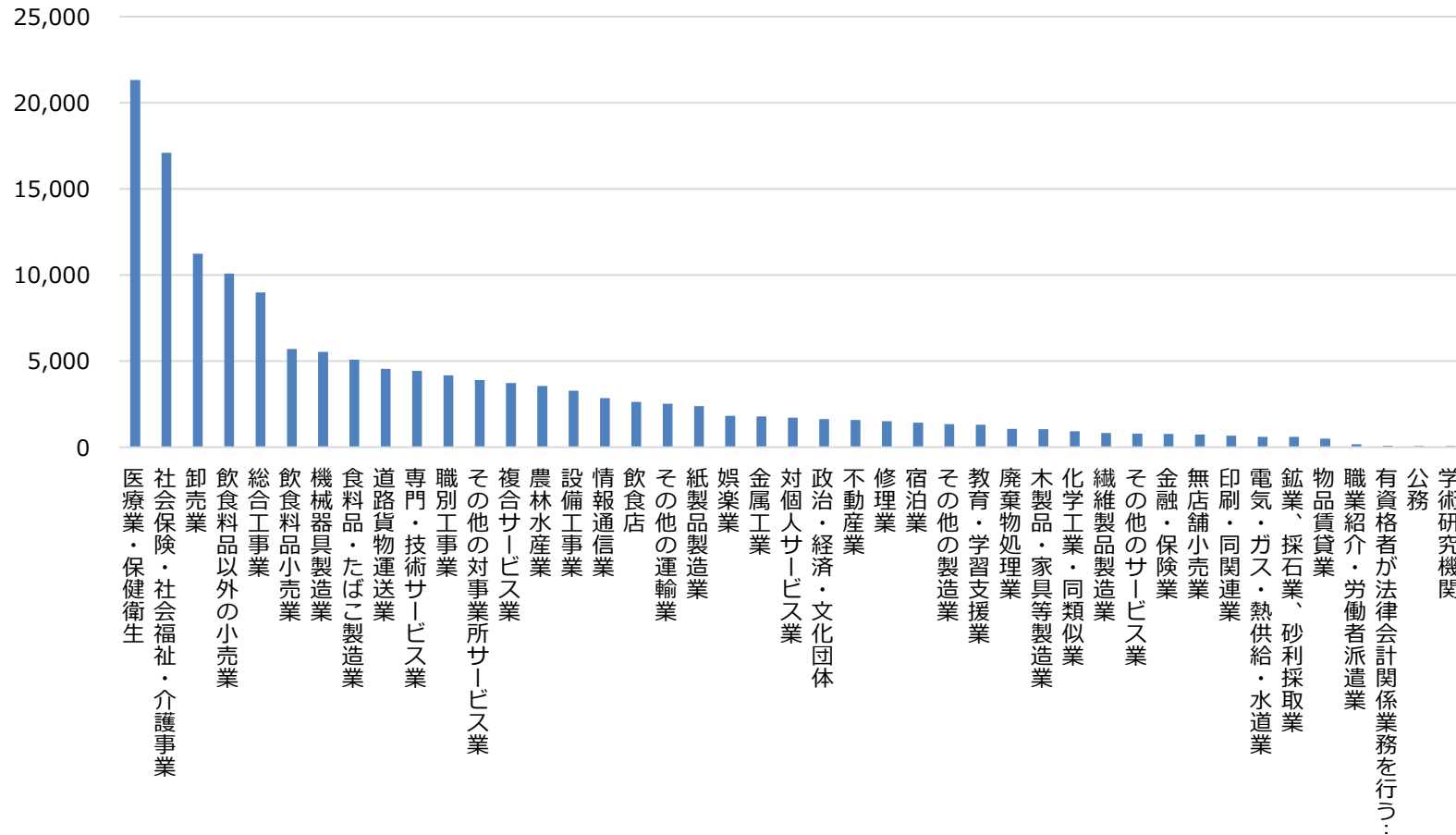
●過去喫煙者、代謝リスク保有者、飲酒習慣改善者の割合が高い

健診結果および問診結果の地域差指数－1



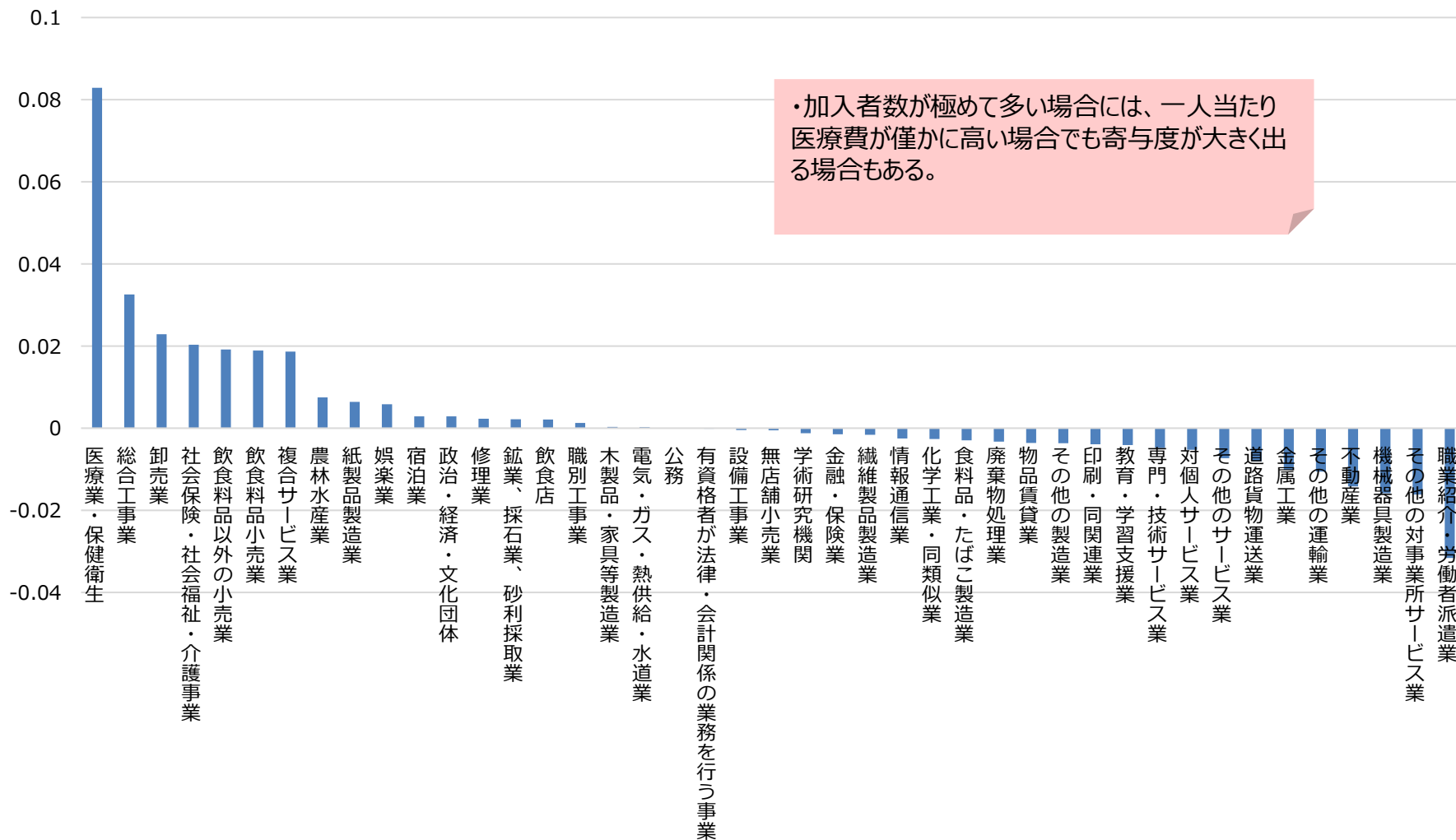
●被保険者数のうち、上位2業種の占める割合は26%（上位5業種では47%）

業態別の被保険者数



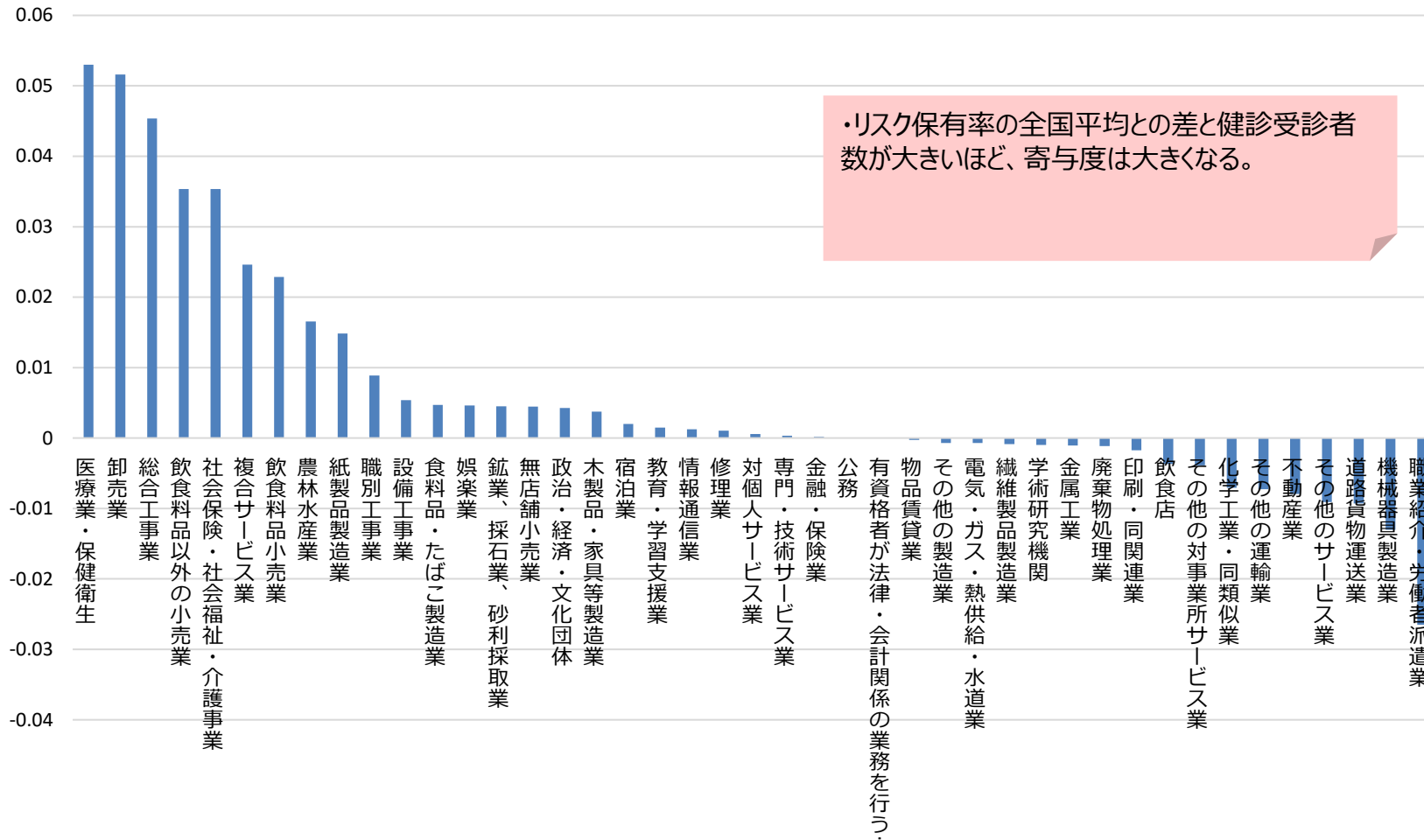
●「医療業・保健衛生」、「総合工事業」、「卸売業」の1人当たり入院医療費が全国より高い

業態別1人当たり医療費の地域差指数－1の寄与度(入院)

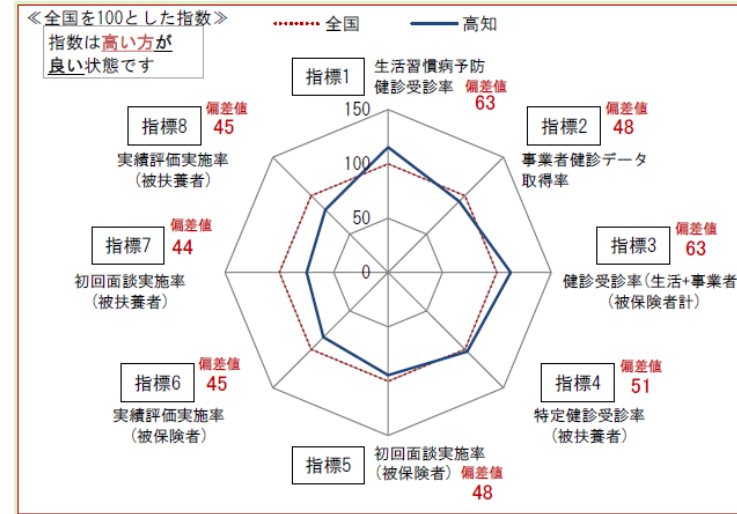


●「医療業・保健衛生」、「卸売業」、「総合工事業」の順に代謝リスク保有割合が高い

業態別代謝リスク保有率の地域差指数－1の寄与度



【健診受診率・特定保健指導実施率（2025年度）】



- 健診受診率が高いが、
特定保健指導の実施率は低い

まとめ

- 健診でリスクは見つかっているため、生活習慣病の改善や適切な治療に結び付くよう取り組みを進め、循環器系の疾患や新生物等の保険者として介入可能な疾患の発症や重症化を防ぐ必要がある

健診

- ・リスク判明



未実施、未受診

- ・特定保健指導実施率が低い
- ・高リスク者



重症化

- ・入院医療費が高くなる
- ・壮年期の死亡率が高い

2. 高知支部の取り組み

健診

- 受診率が低い業態への働きかけ
- リスクの洗い出し



保健指導

- 健診当日実施の拡大
- 特定保健指導実施率が低い事業所への働きかけ



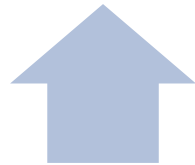
未治療者対策

- 健診当日の高リスク者への受診勧奨および後日勧奨



コラボヘルスの推進およびデータ分析

- 健康宣言事業所の拡大及び宣言後の支援
- 効果的なアプローチ方法の検討



ご意見・お気付きのこと

○ 特定保健指導の受け入れについて

1. 事業所にどのようなことを伝えればよいか？
（特定保健指導の実施効果、当該事業所の健康状態など）
2. どのような広報が必要か？
（広報内容・広報媒体など）

○ 代謝（血糖）リスク保有率の低減に向け、どのような取組が効果的か？

1. 社内における運動の推進
（ウォーキング・体操・エレベーターを使用しないなど）
2. 食事面における推進
（飲食に関する健康講座の幹旋・啓発チラシなど）

○ 健康課題の多い業態へのアプローチとしてどのような取組が必要か？

1. 効果的なアプローチ方法
（訪問による説明・DMなど）

○ 健康経営を浸透させるためのフォローアップ方法は？

1. フォローアップ内容
（オンライン健康講座・健康情報誌の配布など）
2. 他団体との連携
（県や自治体、経済団体等との連携強化や対象など）

○ 健診や健康づくり等に関して、幅広く情報を集めています

1. 事業所での取り組み、加入者の声 など

